

令和6年度事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

1 福井県立すこやかシルバー病院における診療に関する業務

(1) 入院診療患者数

今年度は、入院患者を積極的に受け入れるため、ベッド調整管理を徹底し、院長以下職員一丸となって取り組んだ結果、入院診療の延べ患者数は、R5年度に比べて1,710人増(5.8%)の32,379人となり、1日平均患者数は4.9人増の88.7人となった。

	R6 (人)		R5 (人)		R6-R5 (人)		R6/R5
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
東病棟	16,194	44.4	15,204	41.5	990	2.9	6.5%
西病棟	16,185	44.3	15,465	42.3	720	2.0	4.7%
計	32,379	88.7	30,669	83.8	1,710	4.9	5.6%

※ R6当初目標値：延べ患者数32,850人、1日平均患者数90.0人

(2) 外来診療患者数

今年度は新たに非常勤医師の雇用もあり、外来診療の延べ患者数は、R5年度に比べて279人増(7.3%)の4,290人となり、1日平均患者数は1.2人増の17.7人となった。

	R6 (人)		R5 (人)		R6-R5 (人)		R6/R5
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
外 来	4,290	17.7	4,011	16.5	279	1.2	7.0%
(うち初診)	(546)	(2.2)	(518)	(2.1)	(28)	(0.1)	(5.4%)

※ R6当初目標値：延べ患者数6,342人、1日平均患者数26.1人

(3) デイケア患者数

今年度のデイケアの延べ患者数は、R5年度に比べて64人増(0.3%)の3,987人となり、1日平均患者数は0.3人増の16.4人となった。

	R6 (人)		R5 (人)		R6-R5 (人)		R6/R5
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
デイケア	3,987	16.4	3,923	16.1	64	0.3	1.6%

※ R6当初目標値：延べ患者数4,739人、1日平均患者数19.5人

(4) 電子カルテシステムの運用

令和2年3月16日から電子カルテシステムを本稼働させて以降、業務の効率化が図られ、病院経営の向上に大きく貢献している。

今年度は、病院を標的としたサイバー攻撃に備えるため、システム業者とセキュリティ対策の確認を行うとともに、実際の攻撃を想定した図上訓練を実施した。

2 福井県立すこやかシルバー病院における施設および設備の維持管理に関する業務

施設、設備および備品を良好に維持するため、日常点検および法定の環境測定等の保守管理業務を実施した。

また、老朽化した設備の更新や療養環境の改善を図るため、次のとおり整備を行った。

(1) 県執行分

内 容	備 考
冷温水発生機および冷却塔オーバーホール	開院以来、2回目実施（1回目平成20年度実施）
LED照明工事	節電、経年劣化
デイケアおよび作業療法室エアコン設置	増設（既存設備では能力不足）
デイルーム長尺シート張替え	経年劣化による剥がれおよび転倒骨折防止
講堂準備室エアコン設置	新設
真空遮断器取替工事	経年劣化
CT装置の更新	故障時修理不能、10年間使用
特殊浴槽の更新	故障時修理不能、13年間使用
食器洗浄機の更新	故障時修理不能、19年間使用
低床電動ベッドの整備	5台

3 事業の企画および実施に関する業務

(1) 介護教育事業

認知症高齢者に関する県内の中核医療機関として、医療、保健、福祉に係る水準の向上を図るため、認知症に関する介護教育研修を実施した。

ア 認知症高齢者に係る介護教育および研修に関する業務

(ア) 全県応募型研修（一般コース）

認知症に関する知識の普及・啓発を進めるため、一般県民を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	4/2	脳を活性化させよう	7人
2	4/16	認知症の方とのコミュニケーション	20人
3	4/19	認知症の様々な症状に対するアプローチ	23人
4	4/23	心も体も元気に健康に～認知症を理解し予防しよう～	8人
5	4/25	認知症の方への食事のポイント～管理栄養士の視点から～	5人
6	4/26	認知症高齢者の高齢者の口腔ケア	4人
7	5/2	認知症の診断・治療・予後(医師の講義)	17人
8	5/7	認知症の基礎知識と対応のポイント	10人

9	5/10	脳を活性化させよう	13 人
10	5/14	高齢者の口腔ケア	6 人
11	5/21	認知症の進行段階別症状と対応	11 人
12	5/22	心も体も元気に ～その人らしく生活するコツ～	8 人
13	5/28	認知症の方とのコミュニケーション	10 人
14	6/4	脳を活性化させよう	12 人
15	6/7	認知症の方からはどう見えているのか	25 人
16	6/11	認知症の方の症状悪化の原因を考える	15 人
17	6/12	認知症を予防するための基礎知識～栄養面からのアプローチ～	15 人
18	6/18	認知症の基礎知識と対応のポイント	12 人
19	6/25	心も体も元気に健康に～認知症を理解し予防しよう～	15 人
20	6/27	介護保険制度利用のポイント	12 人
21	6/28	認知症高齢者の排泄援助	7 人
22	7/2	脳を活性化させよう	6 人
23	7/9	レビー小体型認知症の方の介護	9 人
24	7/19	心も体も元気に ～その人らしく生活するコツ～	3 人
25	7/23	認知症の基礎知識と対応のポイント	8 人
26	7/26	認知症の方とのコミュニケーション	中止
27	7/30	脳を活性化させよう	8 人
28	8/6	認知症高齢者の食事援助	11 人
29	8/16	認知症の方とのコミュニケーション	7 人
30	8/20	脳を活性化させよう	6 人
31	8/21	心も体も元気に健康に～認知症を理解し予防しよう～	2 人
32	8/27	認知症の基礎知識と対応のポイント	2 人
33	8/30	認知症高齢者の高齢者の口腔ケア	12 人
34	9/5	介護保険制度利用のポイント	8 人
35	9/6	認知症の方からはどう見えているのか	11 人
36	9/17	認知症の方とのコミュニケーション	7 人
37	9/20	認知症の基礎知識と対応のポイント	3 人
38	9/24	脳を活性化させよう	3 人
39	9/26	認知症の診断・治療・予後(医師の講義)	14 人
40	9/27	認知症の様々な症状に対するアプローチ	15 人
41	10/1	認知症の進行段階別症状と対応	10 人
42	10/4	心も体も元気に ～その人らしく生活するコツ～	4 人
43	10/8	脳を活性化させよう	6 人
44	10/15	認知症高齢者の排泄援助	5 人
45	10/16	認知症の方への食事のポイント～管理栄養士の視点から～	2 人
46	10/18	認知症の基礎知識と対応のポイント	4 人
47	10/22	認知症の方の症状悪化の原因を考える	18 人
48	10/25	認知症の方とのコミュニケーション	9 人
49	10/29	レビー小体型認知症の方の介護	13 人
50	11/1	認知症高齢者の食事援助	5 人
51	11/5	脳を活性化させよう	5 人
52	11/12	認知症の方とのコミュニケーション	7 人
53	11/15	認知症の基礎知識と対応のポイント	7 人

54	11/19	認知症の様々な症状に対するアプローチ	8 人
55	11/20	認知症を予防するための基礎知識～栄養面からのアプローチ～	5 人
56	11/21	心も体も元気に ～その人らしく生活するコツ～	2 人
57	11/22	認知症の方からはどう見えているのか	12 人
58	11/27	介護保険制度利用のポイント	6 人
59	12/3	脳を活性化させよう	11 人
60	12/6	高齢者の口腔ケア	10 人
61	12/10	認知症の基礎知識と対応のポイント	8 人
計			547 人

(イ) 専門職教育研修（施設職員コース）

認知症高齢者に関する専門的知識、技術の普及・啓発を進めるため、老人福祉施設や介護保険施設職員等の専門職を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	4/30 10/21	介護レクリエーションで広がる笑顔の輪	13 人 16 人
2	5/13 11/18	認知症高齢者の終末期ケア	19 人 20 人
3	5/15 10/30	イライラとうまく付き合う介護職になる（アンガーマネジメント）	39 人 30 人
4	5/17 12/5	認知症高齢者の転倒予防	31 人 32 人
5	5/27 11/13	身寄りがなく意思決定が困難な方の入院・入所に係る支援	17 人 14 人
6	5/31	バリデーションの基本	16 人
7	6/3 10/10	認知症者に対する脳活性化リハビリテーション	31 人 13 人
8	6/5 9/4 12/5 3/24	怒りのある方への対応	36 人 30 人 35 人 12 人
9	6/19 6/20	認知症の方の BPSD 出現を予防する関わりと対応	34 人 35 人
10	10/23 10/24	実践で活かすパーソン・センタード・ケア	13 人 16 人
11	6/21 10/9	高齢者レクリエーション	29 人 9 人
12	7/3	食べなくなった認知症高齢者の支え方Ⅰ (自尊心を高めるケア)	43 人
13	7/4	食べなくなった認知症高齢者の支え方Ⅱ (消去法と帰納法)	40 人
14	7/5	認知症高齢者のコミュニケーション 障害の原因と対応(言語聴覚士の視点からのアプローチ)	38 人
15	7/8	高齢者の食事援助	26 人
16	7/31	認知症高齢者の終末期ケア	33 人
17	8/23	認知症を生きる人との心の対話	36 人

18	8/26	アドバンス・ケア・プランニング ～認知症高齢者と家族の意思決定～	34 人
19	8/28 8/29	介護職員のメンタルヘルス ～ストレスに対処できる介護職を目指そう～	15 人 16 人
20	9/9	レビー小体型認知症の人の支援 ～当事者・家族からの経験から学ぶ～	39 人
21	9/10	身体拘束廃止の課題と実践	22 人
22	9/11	養介護施設従事者等による高齢者虐待防止	42 人
23	9/12	懐かしい記憶から引き出す生きがい	43 人
24	9/18	認知症高齢者が安心できる環境づくり	35 人
25	9/19	認知症高齢者に接する時の倫理の基本	34 人
26	10/1	認知症の理解とせん妄、BPSD の予防	44 人
27	10/2	優しさを伝えるケア技術「ユマニチュード®」	15 人
28	10/5 10/6	バリデーションの基本	11 人 10 人
29	10/28	食べる機能の低下と取り戻す訓練	15 人
30	11/7	看取り期における食支援 本人の希望を尊重した「お食い締め」のあり方	45 人
31	11/8	言語聴覚士の視点で診る認知症高齢者のコミュニケーション障害の原因と対応	43 人
32	11/26	認知症高齢者の残存機能を生かした BPSD への対応	15 人
33	3/3	対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応 ～フーズステイで食形態を確認し介助のコツをつかもう～	19 人
34	3/4	穏やかで自然な最期を看取るケア —高齢者施設を中心に—	18 人
35	3/5	在宅で自然な最期を看取るケア —在宅・居宅を中心に—	20 人
36	3/27	介護レクリエーションで広がる笑顔の輪	18 人
37	3/27	認知症高齢者の終末期ケア	14 人
計			1,323 人

(ウ) 専門職向け配信研修

医療機関・福祉施設等の職員を対象として、専門職研修の講義の内容を動画で配信した。

	研修内容	申込施設数	視聴申込者数
1	せん妄の理解とケア	21 施設	106 人
2	不安焦燥感へのケア	10 施設	40 人
3	錯乱状態への対応とケア	7 施設	19 人
4	ケア従事者のストレスマネジメント	9 施設	55 人
5	認知症の方とのコミュニケーション	22 施設	165 人
6	認知症の様々な症状に対するアプローチ	24 施設	198 人
7	開口不良となった認知症の方のケア	22 施設	41 人
計		115 施設	624 人

(エ) 民生委員研修

県内の民生委員を対象に、認知症の基礎知識、認知症の方への対応、介護者に対する相談窓口や病院案内等の研修を実施した。

	研修日	会 場	参加者	講師
1	6/13	福井市きらら館	25 人	介護福祉士
2	6/14	日の出公民館	30 人	介護福祉士
3	7/11	岡保公民館	23 人	看護師
4	7/16	福井市防災ステーション	45 人	看護師
5	7/20	福井市美山公民館	16 人	精神保健福祉士
6	7/22	県民せいきょうハーツたけふ	35 人	精神保健福祉士
7	7/24	春江町中コミュニティーセンター	10 人	看護師
8	8/8	あわら市役所	10 人	精神保健福祉士
9	9/10	東安居公民館	30 人	作業療法士
10	10/29	春江東コミュニティーセンター	25 人	看護師
11	2/22	吉野公民館	62 人	介護福祉士
		合 計	311 人	

(オ) 学生研修

学生を対象に教育カリキュラムの一部として、認知症高齢者の臨床に係る生活援助の在り方の研修を実施した。

	研修期間	学校名	延人数
1	7/24～25	福井県立大学	中止
2	9/2～13	仁愛大学	30 人
3	11/12～14	北陸中学校	4 人
		計	34 人

(カ) 研修等受入

	研修期間	対象者	内容	延人数
1	7/10	ケアマネジャー等	病院見学会	12 人
2	9/25	ケアマネジャー等	病院見学会	8 人
3	11/6	ケアマネジャー等	病院見学会	6 人
		合 計		26 人

(キ) 家族介護研修

a 家族会

認知症介護を行っている家族、認知症介護に携わっている専門職や認知症に関心のある一般県民が認知症に関する知識を深め、その中で介護に役立てられる知識を得る。また認知症高齢者の生活の質を考え、介護家族が抱えている思いを共感・共有しながら介護負担の軽減を図るため家族会を実施

	実施日	内 容	参加者
1	6/14	介護の悩み相談、アドバイス	7 人
2	7/12	介護の悩み相談、アドバイス	9 人
3	8/9	介護の悩み相談、アドバイス	4 人

4	9/13	介護の悩み相談、アドバイス	5人
5	10/11	介護の悩み相談、アドバイス	5人
6	11/8	当院医師からの話、悩み相談	4人
7	12/13	介護の悩み相談、アドバイス	4人
8	3/14	介護の悩み相談、アドバイス	6人
合 計			44人

b 入院患者家族研修

(a) 外出・外泊時研修

外出・外泊時において、個々に応じたケアの留意点を知ることで、家族が入院患者に適切なケアが行え、介護負担が軽減できるよう研修を実施した。

※ 参加者数：(外出時) 114 件、(外泊時) 0 件

(b) リーフレット研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るため、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：3,154 人

c 外来患者家族研修（外来初診時研修）

在宅での家族介護者に対し、地域での介護・相談窓口・介護保険制度等について助言し、家族の介護力の向上を図ることを目的に研修を実施した。

※ 参加者数：486 人

d デイケア患者家族研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るために、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：2,392 人

イ 認知症およびその予防に関する知識の普及および啓発に関する業務

(ア) 講演会

(日時) 令和6年9月23日(祝、月)

(場所) 福井県生活学習館(ユニー・アイふくい)多目的ホール

(講師) 東京大学大学院人文社会系研究科 生死学・応用倫理センター

上廣講座 特任教授 会田薫子氏

(内容) 「あなたの望む生き方を実現するために ～人生会議の意義と支援～」

(参加者) 141 人

(イ) 講師派遣

認知症およびその予防に係る知識の普及・啓発を図るため、他機関からの依頼に応じ、院外に講師を派遣し、研修を実施した。

	研修日	研修事業名	会 場	参加者	講師
1	4/17	古城すこやかクラブ	いきいきプラザ霞の里	60 人	介護福祉士

2	5/2	若狭認知症リンクワーカー樹の輪	美浜町 なびあす	12 人	看護師
3	5/14	あわら市役所 福祉課	あわら市中央公民館	15 人	介護福祉士
4	5/16	福井中央包括支援センター	フェニックスプラザ	14 人	管理栄養士
5	5/31	鯖江市社会福祉協議会	アイアイ鯖江	12 人	看護師
6	6/24	福井県社会福祉協議会	当院 ZOOM	39 人	看護師
7	6/24	越前町役場地域包括支援センター	織田コミュニティセンター	25 人	作業療法士
8	6/29	地域包括支援センターさばえ	鯖江公民館	10 人	看護師
9	7/8	ボランティア 竹田	竹田公民館	15 人	作業療法士
10	7/8	安居福祉会ほたるの杜	ほたるの杜	15 人	看護師
11	7/18	鯖江市社会福祉協議会	アイアイ鯖江	45 人	介護福祉士
12	7/19	福井県立大学	福井県立大学	50 人	看護師
13	8/1	福井県看護協会	福井県看護協会	82 人	看護師
14	8/2	福井県看護協会	福井県看護協会	82 人	看護師
15	8/20	社会福祉法人ケアふくい	社会福祉法人ケアふくい	40 人	看護師
16	8/27	福井社包括支援センター	テウモローズテラス	11 人	看護師
17	9/5	若狭認知症リンクワーカー樹の輪	なびあす	15 人	介護福祉士
18	9/12	福井県看護協会	福井県看護協会	72 人	看護師
19	9/19	福井県民生活協同組合	ハーツ物流センター	80 人	看護師
20	9/28	福井社包括支援センター	テウモローズテラス	13 人	看護師
21	9/28	福井社包括支援センター	テウモローズテラス	13 人	精神保健福祉士
22	9/30	福井県看護協会	福井県看護協会	72 人	看護師
23	10/4	福井県看護協会	坂井市立三国病院	39 人	看護師
24	10/8	福井県看護協会	さくら病院	37 人	看護師
25	10/12	足羽地区社会福祉協議会	足羽公民館	45 人	看護師
26	10/17	越前町包括支援センター	越前町役場	4 人	看護師
27	10/18	福井県看護協会	三国病院	22 人	看護師
28	10/21	福井県看護協会	福井県看護協会	72 人	看護師
29	10/25	日之出公民館	日之出公民館	50 人	作業療法士
30	10/30	福井県社会福祉協議会	当院 ZOOM	19 人	看護師
31	11/3	福井県医師会	福井県医師会館	17 人	看護師
32	11/3	福井県医師会	福井県医師会館	17 人	看護師
33	11/6	ホッとリハビリシステムズ	ホッと地域包括支援センター	17 人	看護師
34	11/6	福井県看護協会	こころの森病院	15 人	看護師
35	11/7	福井県看護協会	福井県看護協会	36 人	看護師
36	11/7	若狭認知症リンクワーカー樹の輪	リブラ若狭	13 人	看護師
37	11/9	足羽地区社会福祉協議会	足羽公民館	50 人	看護師
38	11/13	福井市地域包括推進課	福井市地域交流センター	30 人	精神保健福祉士
39	11/13	大野市在宅介護支援センター和光園	結とびあ多田記念大野有終会館	12 人	看護師
40	11/14	福井県看護協会	福井県看護協会	4 人	看護師
41	11/30	サンライズ織田	サンライズ織田	42 人	看護師
42	12/4	福井県若年性認知症自立支援協議会	当院 ZOOM	25 人	精神保健福祉士
43	12/4	坂井市丸岡地域包括支援センター	健康スタジオ、会議室	20 人	看護師
44	12/10	清明地区社会福祉協議会	清明公民館	38 人	精神保健福祉士
45	12/11	坂井市丸岡地域包括支援センター	高棕コミュニティセンター	5 人	看護師
46	12/14	地域包括支援センター鯖江	鯖江市新横江公民館	12 人	看護師

47	1/29	エーザイ株式会社	織協ビル10階	60人	医師
48	3/5	越前町包括支援センター	越前町役場	4人	看護師
49	3/26	東二ツ屋中高年憩いの場	東二ツ屋ふれあい会館	10人	作業療法士
計				1,507人	

ウ 退院後訪問相談

医療機関・福祉施設等の職員に対し、当院を退院された方の対応困難事例を受け付け、直接事業所に看護師等が訪問し、事業所職員と共に、本人の状態、従事者の対応および施設の環境等を確認し、改善点を話し合う。

	研修日	会 場	参加者	講師
1	4/3	当院外来	4人	看護師
		合 計	4人	

エ 認知症高齢者に関する一般県民からの相談および指導に関する業務

受診相談、外来・介護相談 計554件

(2) 認知症カフェ実施事業

ア 通院者・地域住民対象

(ア) 計画

a 目的

認知症患者および家族の方等を対象に、活動を通じた役割づくり、患者・家族の気分転換、患者からの相談、家族の介護相談等を目的に実施する。

b 日時、場所

(日時) 毎月第2金曜日：午後1時30分～3時30分

(場所) 講堂

(イ) 実績

開催回数 8回

利用者数 74人

4 その他施設の管理運営に必要な業務

(1) 医師の確保

常勤精神科医師の3人体制、非常勤医師の宿日直体制を堅持するため、以下の医師確保対策を実施。

ア 福井大学精神医学教室の関連病院としての連携強化

a 精神医学研究への支援

当院を精神医学の研究施設として提供し、県内精神医学のレベルの向上とともに、当院の認知度や職員の質的向上を図った。

b 寄附金申込みの継続

学術研究の奨励を目的として、寄附金の申込みを継続して行った。

c ローテ医の指導・育成の充実

当該医学教室の研修プログラム連携施設として、当院の精神科指導医によるローテ医の指導・育成を実施した。

(2) 5類移行後の新型コロナウイルス感染拡大への対応

新型コロナウイルスは感染症法上では「5類」に分類されているが、重症化しやすい高齢者の患者を診療対象としている当院では、これまでの感染防止対策を緩和することなく、以下の内容を中心に継続した。

ア 職員全員の感染防止対策

職員全員はマスク着用を継続するとともに、同居家族の体調確認を行った。

イ 患者・家族のマスク着用の協力依頼

受診時や家族が来院する場合は、マスク着用協力の依頼を行った。

ウ 入院当日や疑似症患者等の抗原検査・PCR検査の実施

患者の入院当日や新型コロナウイルス感染疑似症の発生等において、病棟内に感染が拡大しないよう、抗原検査やPCR検査をタイムリーに実施した。

エ 病棟内の換気対策

新型コロナウイルス感染の主な経路は空気感染であり、季節・天候に配慮しながら、換気対策を実施した。

オ 対面面会の再開（オンライン面会の継続）

土日も含め、予約制による対面面会を再開した。またこれまでどおりオンライン面会も継続している。

(3) 精神保健福祉法改正への対応

ア 医療保護入院の見直し

関連書式の変更、見直しに関するフローシート（マニュアル）の作成

イ 虐待防止に向けた取組み

虐待防止に向けた取組みを外来・病棟に掲示するとともにマニュアルを作成した。
また職員に向けて虐待防止に関する研修会を実施した。

(4) 基本給の改定

福井地方最低賃金審議会は令和6年8月9日、令和6年度の最低賃金の引き上げ額を53円とし、時給931円から984円とするよう福井労働局長に答申し、令和6年10月5日から適用されることになった。

そこで、当センターの基本給については、984円を月額換算すると159,410円となったため、まず現在の1号給150,830円から159,410円に引き上げた。

次に、各号給の昇給額については、令和6年度の診療報酬改定率+0.88のうち、医科+0.52%（ベースアップのみ）をベースに給料表を作成した。

傾斜配分により特に号給が低い職員については昇給額を高く設定し、ある一定の号給以上の職員については、昇給額を低く設定した。

(5) 評議員会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和6年4月1日 定款第22条による決議の省略	・評議員の選任の承認について
第2回	令和6年6月17日 当院2階 会議室	・令和5年度事業報告および財務諸表の承認 ・令和6年度事業計画（案）および正味財産増減 予算書（案）の承認 ・任期満了に伴う評議員の選任について ・任期満了に伴う理事および監事の選任について
第3回	令和6年6月17日 定款第22条による決議の省略	・評議員会長の選任の承認について

(6) 理事会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和6年5月21日 当院2階 会議室	・令和5年度事業報告および財務諸表の承認 ・評議員選任候補者の推薦について ・理事および監事の選任について ・評議員会の日時および場所ならびに決議の目的である事項等について
第2回	令和6年6月17日 定款第37条による決議の省略	・代表理事（理事長）の選任の承認について ・代表理事（副理事長）の選任の承認について
第3回	令和7年3月17日 当院2階 会議室	・令和6年度正味財産増減予算書（決算見込） （案）について ・令和7年度事業計画（案）について ・令和7年度正味財産増減予算書（案）について

5 福井県監査委員による監査結果

(1) 日時・場所

令和6年12月20日（金）、県庁2階 監査室

(2) 県監査委員

（県会議員）山本 建、松崎 雄城

（識 見）五十嵐 昌子、伊藤 和弘

(3) 出席者

（当センター）刀禰理事長、山口次長、佐々木主事

（県主管課）長寿福祉課 岡課長、水上主事

(4) 監査結果

指摘事項なし

6 福井県立すこやかシルバー病院指定管理者外部評価委員会による評価結果

(1) 日時・場所

令和7年3月3日(月) 当院2階 会議室

(2) 外部評価委員

(関連分野の専門家) 大森一郎氏、篠崎智恵氏 (経営の専門家) 藤井宏澄氏
(利用者代表) 二宮かよ子氏

(3) 当センターの出席者

刀禰理事長、升谷院長、高嶋看護部長、谷口地域連携室長、山口事務部次長、
佐々木主事

(4) 評価結果

概ね良好

(5) 意見要望とその対応内容

意見要望(外部評価委員会)	対応内容(当センター)
初診の待ち時間が短縮されているが、専門職の間では、以前からの「待ち時間が長い」という印象であるため、待ち時間の短縮についてホームページに掲載するなど、利用しやすい病院となるよう取り組んでいただきたい。	待ち時間については、ホームページや待合ホールにおおよその時間を明示するとともに、「待ち時間の短縮に取り組んでいる。」旨の案内を明示し、病院全体で待ち時間短縮に取り組んでいく。
認知症の治療等が必要な方に対しすこやかシルバー病院を広く知っていただけるよう、広報の工夫や関係機関との連携等に努めていただきたい。	新たに取り組みを実施していくMC I 予防教室を踏まえ、すこやかシルバー病院を広く知っていただけるよう地域のかかりつけ医や地域包括支援センターに出向き案内を実施するとともに、一般県民に広く当院を知っていただけるよう講演会や一般研修を通して広報していく。